



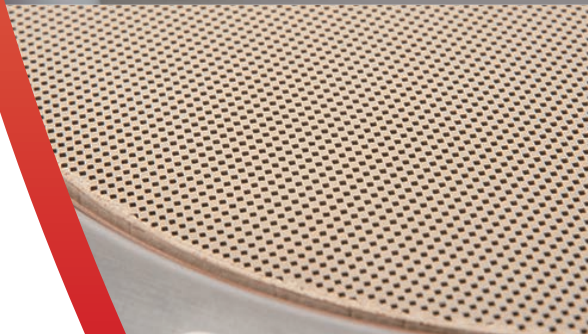
UD TRUCKS



## UDPC (UDパーティキュレートクリーニング)は 2年毎の定期清掃が必要です。

UDトラックスは純正リマニパーツ  
(再加工生産部品)へ交換いたします。

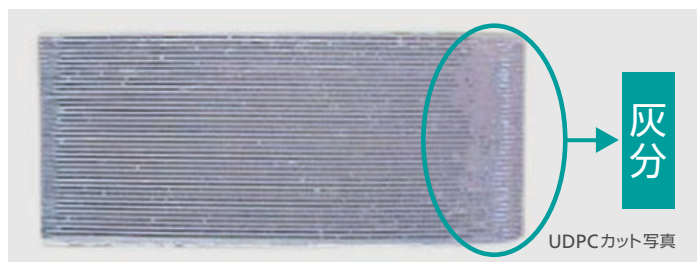
UDトラックスは、集中清掃センターにて専用清掃機で清掃し、  
新品同等の性能を有したUDPCをお客様へご提供いたします。



# UDPC(UDパーティキュレートクリーニング)は走行距離に関わらず2年毎の定期交換が必要です。

## 2年毎に交換する必要性

UDPCは、フィルターを用いて排出ガス中に含まれるPM(粒子状物質)を捕集します。PMを大きく分けると、燃やすことができる「すす」と、燃やすことができない「灰分」の2つがあります。



灰分

UDPCカット写真

PM  
(粒子状物質)

すす

自動・手動再生

灰分

交換

•UDPCの自動再生・手動再生で、堆積した「すす」を燃焼させ取り除きます。燃やすことができない「灰分」は徐々に堆積されますので、UDPCの定期的な交換が必要となります。また、**簡易的な清掃では十分に「灰分」を取り除くことは困難です。**

•灰分は経年変化により、石化(硬化)の可能性があります。**一旦、石化すると清掃機では除去できません。堆積量が少なくても、2年毎の交換が必要です。**

## エクスチェンジパーツ



•UDは確実に「灰分」を清掃するために、エクスチェンジパーツ(清掃済みUDPCへの交換)にて新品同等の性能のUDPCをお客様へ提供いたします。

•取り外したUDPCは集中清掃センターへ送られ、専用清掃機で清掃することで、確実に「灰分」を除去し新品同等の性能のUDPCエクスチェンジパーツとしてリサイクルされます。

•清掃されたUDPCは厳しい性能評価テストを行い、合格したUDPCだけがUDPCエクスチェンジパーツとして出荷されます。

**ご注意** 交換を怠った場合、下記故障の原因となります。

- ①すすの堆積表示が低いのに、強制再生ランプが点灯する。
- ②強制再生の頻度が増加し、車両稼働に影響が出る。
- ③排圧の上昇や強制再生の増加により燃費が悪化する。
- ④最終的には、車両の出力ダウンとなり、低速走行しかできなくなる。